

平成24年度

# 東京大学入学者選抜要項

平成23年7月



この入学者選抜要項は、東京大学が実施する平成24年度入学者選抜の概要を紹介するものである。  
出願に当たっては、該当する募集要項を必ず参照すること。

〔一般入試：「平成24年度東京大学入学者募集要項」（平成23年11月中旬発行予定）  
特別選考：「平成24年（2012）年度東京大学外国学校卒業学生募集要項」（平成23年7月上旬発行）  
“The University of Tokyo Programs in English at Komaba (PEAK) APPLICATION GUIDELINES”  
（2012年度版：平成23年8月上旬公表予定）

# アドミッション・ポリシーについて

## 東京大学の使命と教育理念

1877年に創立された我が国最初の国立大学である東京大学は、日本を代表する世界水準の総合大学として、国内外の様々な分野で指導的役割を果たしうる、「世界的視野をもった市民的エリート」（東京大学憲章）を社会に送り出すことを、自らの使命としています。このような使命のもとで東京大学が目指すのは、自国の歴史や文化に深い理解を示すとともに、国際的な広い視野を持ち、高度な専門知識と柔軟な課題解決能力を兼ね備え、強靱な開拓者精神を発揮しつつ、市民としての公共的な責任を自ら考えて行動できる人材の育成です。

## 教養教育（リベラル・アーツ教育）重視のカリキュラム

東京大学に入学するすべての学生は、前期課程と呼ばれる最初の2年間は、教養学部にも所属し、教養教育（リベラル・アーツ教育）を受けます。この教養教育では、広範で深い教養と豊かな人間性を培いながら、どの専門分野でも必要とされるような、基礎的な知識と学術的な方法を身につけるとともに、自分の進むべき専門分野が何であるのかを見極める力を養います。東京大学のカリキュラムは、このように幅広く分厚い教養教育を基盤として、それと有機的に結合した各学部・学科における多様な専門教育からなり、そのいずれもが、大学院や研究所などで行われている世界最先端の研究へとつながっています。

## 入学試験の基本方針

東京大学は、こうした教育理念に共鳴し、強い意欲を持って学ぼうとする志の高い皆さんを、日本のみならず世界の各地から積極的に受け入れたいと考えています。東京大学が求めているのは、本学の教育研究環境を積極的に最大限活用して、自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していこうとする意志を持った学生です。そのような学生を選抜するために実施される東京大学の学部入学試験は、以下の三つの基本方針に支えられています。

第一に、試験問題の内容は、高校教育において達成を目指すものと軌を一にしています。

第二に、入学後の教養教育に十分に対応できる資質として、文系・理系にとらわれず幅広く学習し、国際的な広い視野と外国語によるコミュニケーション能力を備えていることを重視します。そのため、文系科類の受験者にも理系の基礎知識や能力を求め、理系科類の受験者にも文系の基礎知識や能力を求めるほか、いずれの科類の受験者についても、外国語の基礎的な能力を要求します。

第三に、主体的に学び、課題を発見・解決する力を測る上で、たくさんの知識を詰めこむことよりも、持っている知識を関連づけて解を導く能力の高さを重視します。

## 求められるのは「幅広く主体的な学習」

東京大学の入試問題は、どの科目であれ、高校できちんと学び、身につけた力をもってすれば、決してハードルの高いものではありません。何よりもまず大切なのは、上に述べたような東京大学の使命や教育理念への共感と、東京大学における学びに対する旺盛な興味や関心、そして、その学びを通じた人間的成長への強い意欲です。そうした点で、入学試験の得点だけを意識した、視野の狭い受験勉強ばかりする人よりも、むしろ学校の授業の内外で、自らの興味・関心を生かして幅広く学び、あるいは自らの問題意識を掘り下げて深く学ぼうとする人を、東京大学は歓迎します。

# 目 次

● 平成24年度一般入試	
1 選抜方式・実施期日	1
2 募集人員	1
3 出願資格	1
4 出願期間	2
5 出願について	3
(1) 前期日程	3
(2) 後期日程	3
(3) 学内併願	3
6 入学者選抜方法	3
【前期日程】	3
【後期日程】	3
7 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	4
【前期日程】	4
【後期日程】	6
8 第2次学力試験の実施期日、出題教科・科目等、試験場及び合格者発表日等	7
【前期日程】	7
(1) 実施期日	7
(2) 出題教科・科目等	7
(3) 試験場	8
(4) 第1段階選抜合格者発表日	8
(5) 合格者発表日	8
【後期日程】	9
(1) 実施期日	9
(2) 出題科目等	9
(3) 試験場	9
(4) 第1段階選抜合格者発表日	9
(5) 合格者発表日	9
(6) 科類の決定	9
9 障害等のある入学志願者の事前の相談について	10
10 資料の発表	10
(1) 学力試験における最高点・最低点及び平均点	10
(2) 学力試験における個人別成績通知	10
11 科類と進学	10
(1) 前期課程教育	10
(2) 前期課程の教育研究上の目的	10
(3) 前期課程における科類の特徴	10
(4) 後期課程への進学（進学振分け）	11
(5) 後期課程の学部・学科等	12
(6) 後期課程の各学部の教育研究上の目的	14
別紙1 平成24年度東京大学入学者選抜方法等	16
別紙2 平成24年度東京大学入学者選抜（一般入試）前期日程試験の実施教科・科目等について	18
別紙3 平成24年度東京大学入学者選抜（一般入試）後期日程試験の実施教科・科目等について	20
別紙4 平成24(2012)年度外国学校卒業学生特別選考	22
別紙5 平成24(2012)年度学部英語コース特別選考	24
参 考 「平成24年度東京大学入学者選抜（一般入試）における 大学入試センター試験の利用教科・科目について（予告）」の変更について	26
○ テレホンサービス	（巻末）
○ 入学者選抜等に関する照会先	（巻末）
○ 入学者募集要項等の入手方法	（裏表紙）

# 平成24年度一般入試

## 1 選抜方式・実施期日

本学の一般入試は、「分離分割方式」（前期日程・後期日程）により実施する。

個別学力検査（第2次学力試験）の実施期日は、それぞれ次のとおりである。

前期日程 平成24年2月25日(土)・26日(日)

後期日程 平成24年3月13日(火)

志願者は、分離分割方式により入学試験を行う国公立大学・学部（※）のうち、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができる。したがって「前期―後期」の併願は認められるが、「前期―前期」、「後期―後期」の併願は認められない。

この際、「前期日程」の試験に合格し、3月15日までに入学手続を行った者は、「後期日程」に出願済であってこれを受験した場合でもその合格者とはならない。

ただし、本学の前期日程と後期日程を併願する場合については、3ページの「5（3）学内併願」により取り扱うので慎重に検討の上、出願すること。

※ 独自の日程で入学者選抜を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照。

## 2 募集人員

平成24年度において、教養学部に入学者を許可する学生の募集人員は、次のとおりである。

		前期日程（人）	後期日程（人）
教養学部	文科一類	401	100
	文科二類	353	
	文科三類	469	
	理科一類	1,108	
	理科二類	532	
	理科三類	100	
小計（各日程）		2,963	100
合計（両日程）		3,063	

## 3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、平成24年度大学入試センター試験のうち、本学が定める教科・科目のすべてを受験した者（4～6ページ参照）

なお、本学では大学入試センター試験の過年度の成績は利用しないので、平成24年度大学入試センター試験を必ず受験すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当する者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者
- エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成24年3月31日までに合格見込みの者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの

(注) ① 平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内（出願資格）参照

② 上記カに該当する者とは、上記(1)、(2)及び(3)ア～オに該当しない者のうち、「外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する者又は有する見込みのある者」で、本学の入試制度委員会入学資格検討専門委員会において、申請者から提出された申請書類に基づき、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者とする。

③ 上記カで出願しようとする者は出願前に個別の入学資格審査を行うので、平成23年8月31日(水)（消印有効）までに、次の申請書類と返信用封筒（長形3号（縦23.5cm、横12.0cm）に郵便番号、住所、氏名を記載し380円分（簡易書留）の切手はり付け）を添えて、本学入試事務室に書留速達郵便（封筒の表に「入学資格認定申請書類」と朱書）で申請するものとする。

ただし、大学入試センター試験を受験した者で、新たに本学の受験を希望する者に限って、平成24年1月16日(月)～18日(水)（必着）の間、申請を受け付ける。

(申請書類)

- ・入学資格認定申請書（本学が定める様式：本学のWebサイト参照）
- ・教育施設長発行（厳封）の卒業見込証明書又は卒業証明書
- ・教育施設の概要（教育施設の概要が明記された学校案内等）
- ・教育施設の規則（教科目、授業時間数及び卒業要件の明記されたもの）

(申請書類提出先・照会先)

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学入試事務室 電話番号 03-5841-2082

#### 4 出願期間

前期日程及び後期日程とも下記期間とする。

平成24年1月23日(月)～平成24年2月1日(水)

## 5 出願について

出願については以下のとおり取り扱う。

### (1) 前期日程

文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類・理科三類のうちから一つの科類に出願することができる。なお、複数の科類に出願した場合は、いずれの科類についても受験を認めない。

### (2) 後期日程

文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類を一本化して募集を行うので、科類を指定することなく出願することとなる。なお、入学手続の際に所属する科類を登録する。

### (3) 学内併願

前期日程（一つの科類）及び後期日程に併願することができる。ただし、**本学の前期日程の入学選抜の合格者は、入学手続の完了の有無にかかわらず、本学の後期日程の第1段階選抜において不合格者として取り扱う。**

また、外国学校卒業学生特別選考又は学部英語コース特別選考に出願した場合（出願後、出願資格が無いと判断された者は除く。）は、前期日程・後期日程のいずれについても出願を認めない。

## 6 入学選抜方法

### 【前期日程】

入学者の選抜は、学力試験（大学入試センター試験及び第2次学力試験）及び調査書による。

入学志願者が各科類の募集人員に対して次の倍率に達した場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、第1段階選抜合格者に対して第2次学力試験を行う。

文科一類 約3.0倍      文科二類 約3.0倍      文科三類 約3.0倍

理科一類 約2.5倍      理科二類 約3.5倍      理科三類 約4.0倍

学力試験の成績は、大学入試センター試験の成績（配点110点：900点満点を110点に換算する。）と第2次学力試験の成績（配点440点）とを総合（550点満点）して算出する。

なお、配点等についての詳細は、別紙2（18、19ページ）のとおりである。

### 【後期日程】

入学者の選抜は、学力試験（大学入試センター試験及び第2次学力試験）及び調査書による。

入学志願者が募集人員に対し約5.0倍（※）に達した場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、第1段階選抜合格者に対して第2次学力試験を行う。

また、本学の前期日程と後期日程を併願した場合には、本学の前期日程の入学選抜の合格者は、入学手続を完了したかどうかにかかわらず、本学の後期日程の第1段階選抜において不合格者として取り扱う。

最終的な合格者の判定は、第2次学力試験の成績（300点満点）に基づいて行う。ただし、判定に必要な場合は、大学入試センター試験の成績や調査書を考慮することがある。

なお、配点等についての詳細は、別紙3（20ページ）のとおりである。

※ 後期日程での第1段階選抜の倍率は、全出願者のうちから本学の前期日程合格者を除外した後の、出願者に対して実施する倍率（約5.0倍）である。

## 7 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

### 【前期日程】

文科各類・・・5教科7科目又は6教科7科目

教科	科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	左の4科目のうちから2科目を選択
公民	『倫理, 政治・経済』	
数学	『数学Ⅰ・数学A』	必須
	『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	左の4科目のうちから1科目を選択 ただし, 「工業数理基礎」, 『簿記・会計」, 『情報関係基礎』を選択できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけである。
理科	「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお, 理科の試験時間において2科目を受験した場合は, 第1解答科目の成績を合否判定に利用する。
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	左の5科目のうちから1科目を選択 なお, 『英語』のリスニングテストの成績は, 利用しない。

理科各類・・・5教科7科目

教科	科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、地理歴史及び公民の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用する。
公民	『倫理，政治・経済』	
数 学	『数学Ⅰ・数学A』	必須
	『数学Ⅱ・数学B』  「工業数理基礎」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	左の4科目のうちから1科目を選択 ただし、「工業数理基礎」,『簿記・会計」, 『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけである。
理 科	「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	左の4科目のうちから2科目を選択
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	左の5科目のうちから1科目を選択 なお、『英語』のリスニングテストの成績は、利用しない。

【後期日程】

全科類（理科三類を除く）・・・5教科6科目

教科	科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、地理歴史及び公民の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用する。
公民	『倫理，政治・経済』	
数 学	『数学Ⅰ・数学A』	必須
	『数学Ⅱ・数学B』 「工業数理基礎」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	左の4科目のうちから1科目を選択 ただし、「工業数理基礎」,『簿記・会計」, 『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけである。
理 科	「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、理科の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用する。
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	左の5科目のうちから1科目を選択 なお、『英語』についてはリスニングテストの成績を含むものとし、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算して利用する。

8 第2次学力試験の実施期日，出題教科・科目等，試験場及び合格者発表日等

【前期日程】

(1) 実施期日

科 類	試 験 日	時 間	教 科
文科一類 文科二類 文科三類	平成24年2月25日(土)	9:30~12:00 (150分)	国 語
		14:00~15:40 (100分)	数 学
	平成24年2月26日(日)	9:30~12:00 (150分)	地 理 歴 史
		14:00~16:00 (120分)	外 国 語
理科一類 理科二類 理科三類	平成24年2月25日(土)	9:30~11:10 (100分)	国 語
		14:00~16:30 (150分)	数 学
	平成24年2月26日(日)	9:30~12:00 (150分)	理 科
		14:00~16:00 (120分)	外 国 語

(2) 出題教科・科目等

科 類	教 科	科 目
文科一類 文科二類 文科三類	国 語	国語総合，国語表現Ⅰ，現代文，古典
	数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B（数列，ベクトル）
	地 理 歴 史	日本史B，世界史B，地理Bの3科目のうち，あらかじめ出願の際に届け出た2科目
	外 国 語	(1) 英語（英語Ⅰ，英語Ⅱ，リーディング） （注）英語試験の一部分に聞き取り試験を行う。（30分程度） (2) ドイツ語 (3) フランス語 (4) 中国語 のうち，あらかじめ出願の際に届け出た1外国語 ただし，問題の一部分は，届け出た外国語に代えて，英語，ドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語，スペイン語，韓国朝鮮語のうちから一つを試験場において選択することができる。

科 類	教 科	科 目
理科一類 理科二類 理科三類	国 語	国語総合, 国語表現 I
	数 学	数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A, 数学 B (数列, ベクトル) 数学 C (行列とその応用, 式と曲線)
	理 科	「物理 I・物理 II」, 「化学 I・化学 II」, 「生物 I・生物 II」, 「地学 I・地学 II」 の 4 科目のうち, あらかじめ出願の際に届け出た 2 科目
	外 国 語	(1) 英語 (英語 I, 英語 II, リーディング) (注) 英語試験の一部分に聞き取り試験を行う。(30分程度) (2) ドイツ語 (3) フランス語 (4) 中国語 のうち, あらかじめ出願の際に届け出た 1 外国語 ただし, 問題の一部分は, 届け出た外国語に代えて, 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, スペイン語, 韓国朝鮮語のうちから一つを試験場において選択することができる。
<p>(注) 理科の出題範囲は次のとおりである。</p> <p>「物理 I・物理 II」 物理 I, 物理 II (「力と運動」, 「電気と磁気」, 選択範囲からは「物質と原子」のうち, 原子・分子の運動 (熱力学を含む) を指定)</p> <p>「化学 I・化学 II」 化学 I 及び化学 II の「物質の構造と化学平衡」で学ぶことを基礎とする問題を出題する。題材として, 化学 II の「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。</p> <p>「生物 I・生物 II」 生物 I, 生物 II から出題する。生物 II の「生物の分類と進化」, 「生物の集団」の中から出題する場合は, いずれかを履修していない生徒のいることを考慮し, 背景を説明した上で総合問題として出題する, 選択問題にする, などの配慮を行う。</p>		

(3) 試 験 場

[文科各類] 東京大学駒場 I キャンパス (東京都目黒区駒場)

[理科各類] 東京大学本郷地区キャンパス (東京都文京区本郷及び弥生)

(4) 第 1 段階選抜合格者発表日

平成24年 2 月 8 日(水)

(5) 合格者発表日

平成24年 3 月10日(土)

## 【後期日程】

### (1) 実施期日

科 類	試 験 日	時 間	科 目
全科類 (理科三類を除く)	平成24年 3月13日(火)	9 : 30～11 : 30 (120分)	総 合 科 目 Ⅲ
		13 : 00～15 : 00 (120分)	総 合 科 目 Ⅱ
		16 : 00～18 : 00 (120分)	総 合 科 目 Ⅰ

### (2) 出題科目等

科 類	科 目	
全科類 (理科三類 を除く)	総合科目Ⅰ	英語の読解力と記述力を見る。 (英語読解・記述を通して、表現力、構成力などを審査する。)
	総合科目Ⅱ	事象の解析への数学の応用力を見る。 (自然や社会のさまざまな事象を数学的に解析することを問う。 ここで用いられる数学の知識は高等学校又は中等教育学校における数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列、ベクトル)・ 数学C(行列とその応用、式と曲線)にわたるが、この科目では 数学の総合的な応用能力を審査する。)
	総合科目Ⅲ	文化、社会、科学等に関する問題について論述させ、理解力・思考 力・表現力を見る。

### (3) 試 験 場

東京大学本郷地区キャンパス(東京都文京区本郷)

### (4) 第1段階選抜合格者発表日

平成24年 3月10日(土)

### (5) 合格者発表日

平成24年 3月21日(水)

### (6) 科類の決定

入学手続の際に所属する科類(文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類)を登録する。

## 9 障害等のある入学志願者の事前の相談について

受験あるいは修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ相談すること。

なお、内容によっては対応に時間を要することもあるので、出願する前のできるだけ早い時期に入試事務室（03-5841-2083）まで申し出ることが望ましい。特に、点字又は代筆による解答を希望する者については、平成23年12月15日(木)までに申出がなかった場合、特別措置による受験ができなくなることもあるので、十分注意すること。

## 10 資料の発表

### (1) 学力試験における最高点・最低点及び平均点

合格者の学力試験における最高点・最低点及び平均点は、合格者発表時に東京大学本郷地区キャンパス内で発表する。なお、前期日程においては、科類別に発表する。

### (2) 学力試験における個人別成績通知

学力試験での個人別成績は、第2次学力試験科目別得点・総得点等を、希望者に対して郵送で通知する。詳細は、入学者募集要項（11月中旬発行予定）を参照すること。

## 11 科類と進学

### (1) 前期課程教育

本学に入学を許可された学生は、教養学部にも所属して前期課程2年間の学修をする。（前期課程の修業年限は2年である。）

そのうち初めの1年半は、文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類・理科三類の六つの類に分かれ、リベラル・アーツ教育によって幅広く深い教養と豊かな人間性を培うとともに、後期課程の専門教育に必要な基礎的な知識と方法を学ぶ。後の半年は、進学が内定した学部・学科での学修の基礎となるべき専門教育科目を主として学ぶ。

### (2) 前期課程の教育研究上の目的

特定の専門分野に偏らない総合的な視野を獲得させるリベラル・アーツ教育を行い、同時に専門課程に進むために必要な知識や知的技能を身につけ、専門的なものの見方や考え方の基本を学びとらせることを目的とする。

### (3) 前期課程における科類の特徴

文科一類：法と政治を中心にして社会科学全般の基礎を学び、関連する人文科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め、人間と社会について広い見識を養う。

文科二類：経済を中心にして社会科学全般の基礎を学び、関連する人文科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め、人間と組織について広い見識を養う。

文科三類：言語、思想、歴史を中心にして人文科学全般の基礎を学び、関連する社会科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め、人間と文化的・社会的営為について広い見識を養う。

理科一類：数学，物理学，化学を中心にして数理科学・物質科学・生命科学の基礎を学び，自然の基本法則に関する探究心を養い，科学や技術と社会の関わりについても理解を深める。

理科二類：生物学，化学，物理学を中心にして生命科学・物質科学・数理科学の基礎を学び，自然の諸法則に関する探究心を養い，科学や技術と社会の関わりについても理解を深める。

理科三類：生物学，化学，物理学を中心にして生命科学・物質科学・数理科学の基礎を学び，人間についての探究心を養い，生命と社会の関わりについても理解を深める。

#### (4) 後期課程への進学（進学振分け）

学生は2年間の前期課程を終えると，後期課程へ進学する。

進学する学部・学科等は入学後1年半を経た後に，学生の志望と成績をもとにして内定される。

前期課程の各科類と基本的対応関係にある後期課程の学部・学科は以下のとおりである。

（〔6年制〕は前期課程2年，後期課程4年の学科を示す。他はすべて，前期課程2年，後期課程2年の4年制学科である。）

文科一類……**法 学 部**〔第1類，第2類，第3類〕

**教養学部**〔教養学科，学際科学科，統合自然科学科〕

文科二類……**経済学部**〔経済学科，経営学科，金融学科〕

**教養学部**〔教養学科，学際科学科，統合自然科学科〕

文科三類……**文 学 部**〔思想文化学科，歴史文化学科，言語文化学科，行動文化学科〕

**教育学部**〔総合教育科学科〕

**教養学部**〔教養学科，学際科学科，統合自然科学科〕

理科一類……**工 学 部**〔社会基盤学科，建築学科，都市工学科，機械工学科，機械情報工学科，航空宇宙工学科，精密工学科，電子情報工学科，電気電子工学科，物理工学科，計数工学科，マテリアル工学科，応用化学科，化学システム工学科，化学生命工学科，システム創成学科〕

**理 学 部**〔数学科，情報科学科，物理学科，天文学科，地球惑星物理学科，地球惑星環境学科，化学科，生物化学科，生物学科，生物情報科学科〕

**薬 学 部**〔薬科学科，薬学科〔6年制〕〕

**農 学 部**〔応用生命科学課程，環境資源科学課程〕

**医 学 部**〔健康総合科学科〕

**教養学部**〔統合自然科学科，学際科学科，教養学科〕

理科二類……**農学部**〔応用生命科学課程，環境資源科学課程，獣医学課程〔6年制〕]  
**薬学部**〔薬科学科，薬学科〔6年制〕]  
**理学部**〔地球惑星環境学科，化学科，生物化学科，生物学科，生物情報科学科]  
**工学部**〔応用化学科，化学システム工学科，化学生命工学科，マテリアル工学科，システム創成学科，電子情報工学科，電気電子工学科，機械工学科，機械情報工学科，計数工学科，都市工学科，精密工学科，物理工学科]  
**医学部**〔健康総合科学科，医学科〔6年制〕]  
**教養学部**〔統合自然科学科，学際科学科，教養学科〕

理科三類……**医学部**〔医学科〔6年制〕]

(5) 後期課程の学部・学科等

後期課程の修業年限は，2年（ただし，医学部医学科，農学部獣医学課程及び薬学部薬学科は4年）である。

**法学部** 第1類（私法コース）  
 第2類（公法コース）  
 第3類（政治コース）

**経済学部** 経済学科  
 経営学科  
 金融学科

**文学部** 思想文化学科  
 哲学，中国思想文化学，インド哲学仏教学，倫理学，宗教学宗教史学，美学  
 芸術学，イスラム学の各専修課程  
 歴史文化学科  
 日本史学，東洋史学，西洋史学，考古学，美術史学の各専修課程  
 言語文化学科  
 言語学，日本語日本文学（国語学），日本語日本文学（国文学），中国語中国  
 文学，インド語インド文学，英語英米文学，ドイツ語ドイツ文学，フランス  
 語フランス文学，スラヴ語スラヴ文学，南欧語南欧文学，現代文芸論，西洋  
 古典学の各専修課程  
 行動文化学科  
 心理学，社会心理学，社会学の各専修課程

**教育学部** 総合教育科学科  
 基礎教育学専修（基礎教育学コース）  
 教育社会科学専修（比較教育社会学コース，教育実践・政策学コース）  
 心身発達科学専修（教育心理学コース，身体教育学コース）

## 教養学部

### 教養学科

超域文化科学分科（文化人類学，表象文化論，比較文学比較芸術，現代思想，学際言語科学，言語態・テキスト文化論，学際日本文化論の各コース）

地域文化研究分科（イギリス研究，フランス研究，ドイツ研究，ロシア東欧研究，イタリア地中海研究，北アメリカ研究，ラテンアメリカ研究，アジア・日本研究，韓国朝鮮研究の各コース）

総合社会科学分科（相関社会科学，国際関係論の各コース）

### 学際科学科

科学技術論，地理・空間，総合情報学，地球システム・エネルギーの各コース

### 統合自然科学科

数理自然科学，物質基礎科学，統合生命科学，認知行動科学の各コース

## 工学部

### 社会基盤学科

設計・技術戦略，政策・計画，国際プロジェクトの各コース

### 建築学科

### 都市工学科

都市環境工学，都市計画の各コース

### 機械工学科

### 機械情報工学科

### 航空宇宙工学科

航空宇宙システム学，航空宇宙推進学の各コース

### 精密工学科

### 電子情報工学科

### 電気電子工学科

### 物理工学科

### 計数工学科

数理情報工学，システム情報工学の各コース

### マテリアル工学科

バイオマテリアル，マテリアル環境・基盤，情報ナノマテリアルの各コース

### 応用化学科

### 化学システム工学科

### 化学生命工学科

### システム創成学科

環境・エネルギーシステム，シミュレーション・数理社会デザイン，知能社会システムの各コース

理 学 部 数学科  
情報科学科  
物理学科  
天文学科  
地球惑星物理学科  
地球惑星環境学科  
化学科  
生物化学科  
生物学科  
生物情報科学科

農 学 部 応用生命科学課程  
生命化学・工学，応用生物学，森林生物学，水圏生物学，動物生命システム科学，生物素材化学の各専修  
環境資源科学課程  
緑地環境学，森林環境資源科学，木質構造科学，生物・環境工学，農業・資源経済学，フィールド科学，国際開発農学の各専修  
獣医学課程 [後期課程 4 年制]  
獣医学専修

薬 学 部 薬科学科  
薬学科 [後期課程 4 年制]

医 学 部 医学科 [後期課程 4 年制]  
健康総合科学科

(6) 後期課程の各学部の教育研究上の目的

法 学 部：法学と政治学を中核とした教育研究を通じて，幅広い視野をそなえ，法的思考と政治学的識見の基礎を身につけた人材を養成することを目的とする。

医 学 部：生命科学・医学・医療の分野の発展に寄与し，国際的指導者になる人材を育成することを目的とする。すなわち，これらの分野における問題の的確な把握と解決のために創造的研究を遂行し，その成果に基づいた全人的医療を実践しうる能力を学生に修得させることを目指す。

工 学 部：豊かな教養，国際性，科学技術に対する体系的な知識を身につけ，研究，開発，設計，生産，計画，経営，政策提案等において，工学的手法を活用して人類社会の持続と発展に貢献できる指導的人材を養成することを目的とする。

文学部：人間の思想，歴史，言語，社会に対する真の理解を目指して，文献読解，資料分析，実験・調査といった基本的な方法論を身につけ，広く深い素養を獲得することを通じて，人類文化の継承と発展に寄与しうる人材を育成することを教育研究の目的とする。

理学部：自然界の仕組みを体系的に理解して，自然科学の諸分野で先端的な研究を行う人材及び理学の素養の上に社会で創意ある活動を行う人材養成を目指し，学生自らが第一線の研究に触れる中から自然に問いかけ思索する能力を修得させることを目標とする。

農学部：農学を構成する応用諸科学に関する専門教育を段階的・体系的に行い，食料・資源・環境等の問題の解決に必要な高度の専門知識と幅広い視野を有し，社会・文化・産業活動を通じて地球社会の要請に応えることのできる洞察力・実践力・指導力を備えた人材を育成することを目的とする。

経済学部：経済学・経営学の多様な分野に関する理論的・実証的な学説・知識を体系的に講義するとともに，演習などで個別研究を行う機会を提供することによって，国際的な視野に立って実業界・官界・学界などで活躍する人材を養成することを目的とする。

教養学部：学際的教育の前提としての専門分野の基礎学力の養成，更に専門分野を超えた総合的理解力・判断力の養成，問題解決能力を備えた社会的リーダーシップをとりうる人材の養成，世界に開かれた視野と発信力の養成を教育研究上の目的とする。

教育学部：広い視野と学識にもとづいて深く教育学を中心とする専門的知識と教養を形成し，教育を中心とする諸分野の指導的人材を養成することを目的とする。

薬学部：医薬の創製からその適正使用までを目標とし，生命に関わる物質及びその生体との相互作用を対象とする学問体系である。本学部は創薬科学及び基礎生命科学の発展に寄与する研究者，医療行政に貢献する人材，高度医療を担う薬剤師の養成を教育研究の目的とする。

別紙 1

平成24年度 東京大学入学者選抜方法等  
 (一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試, アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等	個別学力検査等 (第2次学力試験)								専門学校・総合学科卒業生入試					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程 第2次学力試験等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)			
	実技検査等				2段階選抜				実技検査等										
	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う		第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う				小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	募集人員
						○	×												
科 類	○	×	×	×	○	○	約3.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
前期日程	文科一類	○	×	×	×	○	○	約3.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×	【前期日程】 2月25日(土)・26日(日) 【後期日程】 3月13日(火)  (外国学校卒業生特別選考は22・23ページ参照)	追加合格	
	文科二類	○	×	×	×	○	○	約3.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×			
	文科三類	○	×	×	×	○	○	約3.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×			
	理科一類	○	×	×	×	○	○	約2.5倍	×	×	×	×	×	×	×	×			
	理科二類	○	×	×	×	○	○	約3.5倍	×	×	×	×	×	×	×	×			
	理科三類	○	×	×	×	○	○	約4.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×			
後期日程	全科類 (理科三類を除く)	○	×	×	×	×	○	*約5.0倍	×	×	×	×	×	×	×	×			

(\*) 本学への出願は、前期日程で一つの科類及び後期日程に併願することができる。ただし、併願した場合には、本学の前期日程の入学者選抜の合格者は、科類のいかんを問わず、入学手を完了したかどうかにかかわらず、本学の後期日程の第1段階選抜において不合格者として取り扱う。したがって、後期日程での第1段階選抜の倍率は、全出願者のうちから本学の前期日程合格者を除外した後の、出願者に対して実施する倍率(約5.0倍)である。(3ページ参照)

(注) ○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。

## 平成24年度 東京大学入学者選抜方法等（特別入試）

選 抜 方法等	推 薦 入 試								帰国子女・社会人等のための特別入試				その他	
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する								外国学校卒業 学生特別選考				学部英語 コース 特別選考	備 考
	科 類	個別学 力検査 を免除 し、大 学入試 センタ 一試験 を課す る	個別学 力検査 及び大 学入試 センタ 一試験 を免除 する	実 技 検 査 等					推 薦 入 試 募 集 人 員	第 1 種	第 2 種	中国引 揚者等 子女		
実技検 査を課 する		面 接 を行う	小論文 を課す る	外国語 におけるリス ニング テスト を課す る	その他	外国人 であつ て日本 国の永 住許可 を得て いない 者	日本人 及び第 1種以 外の外 国人							
文科一類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	※	
文科二類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		
文科三類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		
理科一類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		
理科二類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		
理科三類	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×		

(※) 教養学部国際日本研究コース・国際環境学コース（後期課程3・4年）  
（前期課程1・2年次は、教養学部国際教養コースで学修する。）

(注) ○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。



# 平成24年度 東京大学入学者選抜（一般入試）前期日程試験の実施教科・科目等について〔理科各類型〕

学術・学科学科等 及び募集人員等 〔平成23年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		注1		個別学力検査等（第2次学力試験）					注2			注3		
		教科	科目名等	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	点配 合計	その他の 選抜方法等	
理科学科 2.6 1,108人 前期 1,108 その他 若干	2月25・26日	国語 世界史・倫理・政経 公民 数 教I・教A 教II・教B 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	日B, 地理B }から1	国語総合・国語表現I 教I・教II・教III・教A・教B・教C 物理I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIから2 英(英I・英II・リーディング), 独, 仏, 中から1	国語 世界史・倫理・政経 公民 数 教I・教A 教II・教B 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	センター試験	(200)	(100)	(200)	(200)	(200)	(200)	110 (900)	男子 女子 外国人 追加合格		
						個別学力検査	80		120	120	120	440				
理科学科 3.9 532人 前期 532 その他 若干	2月25・26日	国語 世界史・倫理・政経 公民 数 教I・教A 教II・教B 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	日B, 地理B }から1	国語総合・国語表現I 教I・教II・教III・教A・教B・教C 物理I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIから2 英(英I・英II・リーディング), 独, 仏, 中から1	国語 世界史・倫理・政経 公民 数 教I・教A 教II・教B 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	センター試験	(200)	(100)	(200)	(200)	(200)	(200)	110 (900)	男子 女子 外国人 追加合格		
						個別学力検査	80		120	120	120	440				
理科学科 5.7 100人 前期 100 その他 若干	2月25・26日	国語 世界史・倫理・政経 公民 数 教I・教A 教II・教B 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	日B, 地理B }から1	国語総合・国語表現I 教I・教II・教III・教A・教B・教C 物理I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIから2 英(英I・英II・リーディング), 独, 仏, 中から1	国語 世界史・倫理・政経 公民 数 教I・教A 教II・教B 物理I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	センター試験	(200)	(100)	(200)	(200)	(200)	(200)	110 (900)	男子 女子 外国人 追加合格		
						個別学力検査	80		120	120	120	440				

## 注1【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- (1) 地理歴史及び公民において、その試験時間に2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用する。
- (2) 数学において、「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけである。
- (3) 外国語において、『英語』のリスニングテストの成績は、利用しない。

## 注2【個別学力検査等】欄

- (1) 英語試験の一部に関き取り試験を行う。(30分程度)
- (2) 数学B、数学Cの出題範囲は次のとおりである。  
数学B（「数列」、「ベクトル」）、数学C（「行列とその応用」、「式と曲線」）  
「物理I・物理II」 物理I（「力と運動」、「電気と磁気」、選択範囲からは「物質と原子」のうち、原子・分子の運動（熱力学を含む）を指定）  
「化学I・化学II」 化学I及び化学IIの「物質の構造と化学平衡」で学ぶことを基礎とする問題を出題する。題材として、化学IIの「生活と物質」、「生命と物質」、「生物の分類と進化」、生物IIの「生物の集団」の中から出題する場合は、いずれかを履修していない生徒のいることを考慮し、背景を説明した上で総合問題として出題する、選択問題にする、などの配慮を行う。

## 注3【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- 第1段階選抜を行う場合は、表中に掲げる大学入試センター試験の各教科・科目の合計得点（900点満点/各教科の配点は（ ）内のとおり。）により行う。  
学術試験の成績は、大学入試センター試験の成績（配点110点：上記の合計得点（900点満点）に900分の110を掛けた値をもってこの成績とする。）と個別学力検査（第2次学力試験）の成績（配点440点）とを総合（550点満点）して算出する。

平成24年度 東京大学入学選抜(一般入試)後期日程試験の実施教科・科目等について〔全科類(理科三類を除く)〕

学部・学科等名 及び募集人員等 (平成23年度) (志願倍率)	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		注 1	個別学力検査等 (第2次学力試験)		注 2	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						注 3	その他の 選抜方法等	
		教科	科目名		科目等	教科・科目等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科			外国語
全科類 (理科三類を除く) 29.7	3月13日	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 教Ⅰ・教A 教Ⅱ・教B, 生Ⅰ, 地理Ⅰ から1 理科 外	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 教Ⅰ・教A 教Ⅱ・教B, 生Ⅰ, 地理Ⅰ から1 理科 外	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	2段階 選抜 約5.0倍	センター試験 個別学力検査	(200)	(100)	(200)	(100)	(200)	(100)	(100)	(100)	(800)	追加合格
100人				[5教科6科目]								100	100	100	300	

注 1 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- (1) 地理歴史及び公民において、その試験時間に2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用する。
- (2) 数学において、「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者だけである。
- (3) 理科において、その試験時間に2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用する。
- (4) 外国語において、『英語』はリスニングテストの成績を含むものとし、『筆記試験(200点満点)』とリスニングテスト(50点満点)の合計得点(250点満点)を200点満点に換算して利用する。

注 2 【個別学力検査等】欄

- (1) 総合科目Ⅰは、英語の読解力と記述力を見る(英語読解・記述を通して、表現力、構成力などを審査する)。
- (2) 総合科目Ⅱは、事象の解析への数学の応用力を見る(自然や社会のさまざまな事象を数学的に解析することを問う。ここで用いられる数学の知識は高等学校又は中等教育学校における数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列、ベクトル)・数学C(行列とその応用、式と曲線)にわたるが、この科目では数学の総合的な応用力を審査する)。
- (3) 総合科目Ⅲは、文化、社会、科学等に関する問題について論述させ、理解力・思考力・表現力を見る。

注 3 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- 第1段階選抜を行う場合は、表中に掲げる大学入試センター試験の各教科・科目の合計得点(800点満点/各教科の配点は( )内のとおり。)により行う。  
最終的な合格者の判定は、個別学力検査(第2次学力試験)の成績(300点満点)に基づいて行う。ただし、判定に必要なある場合は、大学入試センター試験の成績や調査書を考慮することがある。



## 平成24（2012）年度 外国学校卒業学生特別選考

東京大学

実施科類	文科一類，文科二類，文科三類 理科一類，理科二類，理科三類
募集人員	文科一類，文科二類，文科三類 } 第1種，第2種 各若干名 理科一類，理科二類，理科三類 }
出願資格	<p><b>[第1種] (外国人であって日本国の永住許可を得ていない者)</b> 平成19(2007)年4月1日から平成24(2012)3月31日までの間に，次の基礎資格を取得し，かつ，要件を満たしている者とする。</p> <p>(1) 基礎資格 次のア，イいずれかに該当すること。 ア 外国において，我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校を修了した者及び修了見込みの者，又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 「外国において，我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校」とは，地理的，場所的に外国で，原則として，その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって，修了により大学への受験資格を得られることを要する。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については，本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので，早めに照会すること。 イ 下記のいずれかの資格を外国において取得し，かつ，18歳に達したもの ○ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ○ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 ○ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(2) 要件 次に掲げるすべての要件を満たすこと。 ア 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（平成23(2011)年6月，11月実施のいずれか）の所定の科目をすべて受験すること（日本語・英語いずれの出題言語でも受験可）。所定の科目とは，文科各類を志望する者は文科系の科目である「日本語」・「総合科目」・「数学（コース1）」，理科各類を志望する者は理科系の科目である「日本語」・「理科（物理・化学・生物から2科目選択）」・「数学（コース2）」のことである。 （注）数学のコース選択を注意すること。コースの選択を間違えた者は，第1次選考不合格者とするので注意すること。 イ TOEFL (Test of English as a Foreign Language) を受験すること（iBT, PBT, CBTいずれでも可）。なお，出願期間までにOfficial Score Report又はExaminee Score Recordが提出できれば，受験時期は問わない。 ウ 外国の学校に，原則として，最終学年を含め継続して1年以上在学し，その最終学校を修了すること。</p> <p><b>[第2種] (日本人及び第1種以外の外国人)</b> 平成22(2010)年4月1日から平成24(2012)年3月31日までの間に，次の基礎資格を取得し，かつ，要件を満たしている者とする。</p> <p>(1) 基礎資格 次のア，イいずれかに該当すること。 ア 外国において，我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校を修了した者及び修了見込みの者，又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 「外国において，我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校」とは，地理的，場所的に外国で，原則として，その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって，修了により大学への受験資格を得られることを要する。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については，本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので，早めに照会すること。 なお，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設出身者は出願が認められない。 イ 下記のいずれかの資格を外国において取得し，かつ，18歳に達したもの ○ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ○ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 ○ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(2) 要件 次のア，イいずれかの要件を満たすこと。 ア 外国の学校に最終学年を含め継続して3年以上在学し，その最終学校を修了すること。</p>

出願資格	<p>ただし、最終学年の休業等によって書類上の在学期間が3年未満となる場合については、12月下旬に行う出願資格審査において、3年以上在学した者との実質的な同等性について判断する。</p> <p>イ 外国の学校に最終学年を含め最終学年からさかのぼって連続する6年間のうち通算で5年以上在学し、その最終学校を修了すること。</p> <p>ただし、休業等によって書類上の在学期間が5年未満となる場合については、12月下旬に行う出願資格審査において、5年以上在学した者との実質的な同等性について判断する。</p>
選抜方法等	<p><b>[第1種] (外国人であって日本国の永住許可を得ていない者)</b></p> <p>(1) 第1次選考 書類選考, 日本留学試験及びTOEFL (Test of English as a Foreign Language) の成績</p> <p>(2) 第2次選考 小論文, 面接      なお、小論文については次のとおりである。  <b>[小論文]</b> 2問を課す。      2問とも日本語で解答すること。</p> <p><b>[第2種] (日本人及び第1種以外の外国人)</b></p> <p>(1) 第1次選考 書類選考</p> <p>(2) 第2次選考 小論文, 学力試験, 面接      なお、小論文及び学力試験の出題教科・科目については次のとおりである。  <b>[小論文]</b> 2問を課す。      第1問は日本語で解答し、第2問は次の言語のうちからあらかじめ出願の際に届け出たもので解答すること。英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、韓国朝鮮語、アラビア語</p> <p><b>[学力試験]</b></p> <p>(文科各類)      外国語 英語 (英I, 英II, リーディング), ドイツ語, フランス語, 中国語から1外国語      ただし、問題の一部分は、届け出た外国語に代えて、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国朝鮮語のうちから一つを試験場において選択することができる。      (注) 英語試験の一部分に聞き取り試験を行う。(30分程度)</p> <p>(理科各類)      数学 数I, 数II, 数III, 数A, 数B (数列, ベクトル), 数C (行列とその応用, 式と曲線)      理科 物I・物II, 化I・化II, 生I・生II, 地学I・地学IIから2科目</p>
出願期間	<p>第1種 平成23(2011)年12月1日(木)から12月8日(木)まで          第2種 平成23(2011)年11月1日(火)から11月9日(水)まで</p>
選抜期日	<p>第1種 平成24(2012)年2月25日(土)・3月17日(土)          第2種 平成24(2012)年2月25日(土)・26日(日), 3月17日(土)</p>
合格発表日	<p>平成24(2012)年3月21日(水)</p>
その他	<p>「平成24(2012)年度外国学校卒業学生募集要項」は、以下の方法で交付中である。</p> <p>(1) Webサイトからダウンロード          「特別選考の概要」 <a href="http://www.u-tokyo.ac.jp/stu03/e01_02_04j.html">http://www.u-tokyo.ac.jp/stu03/e01_02_04j.html</a></p> <p>(2) 「入学者募集要項等の入手方法」(裏表紙)</p>

平成24年（2012）年度 学部英語コース特別選考

平成24(2012)年10月から、英語による授業のみで学位が取得できるコースを設置する。

東 京 大 学

実施学部等	<p>教養学部                  国際日本研究コース（後期課程3・4年）                  国際環境学コース（後期課程3・4年）                  ※前期課程1・2年次は、教養学部国際教養コースで学修する。</p>
募集人員	<p>各コース 若干名 ※入学日は平成24(2012)年10月1日</p>
出願資格	<p>平成24(2012)年9月30日までに、次のいずれかの基礎資格を取得（取得見込みの者を含む。）し、かつ、要件を満たしている者とする。</p> <p>1. 基礎資格</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）</p> <p>(2) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当する者</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）で平成24(2012)年9月30日までに18歳に達するもの</p> <p>カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成24(2012)年9月30日までに18歳に達するもの</p> <p>2. 要件</p> <p>基礎資格を取得した時点からさかのぼって連続する12年のうち、前半の6年中最低5年間、かつ、後半の6年中最低5年間を主に日本語以外で教育を受けた者。</p> <p>ただし、飛び級等により、12年に満たない場合については、出願資格審査において、実質的な同等性について判断する。</p>
選抜方法等	<p>出願書類及び面接等により選考を行う。</p>
出願期間	<p>平成23(2011)年10月3日(月)から平成24(2012)年1月6日(金)まで</p>
選考時期	<p>平成24(2012)年1月から3月</p>
合格発表日	<p>平成24(2012)年4月25日(水)</p>
その他	<p>本コースの詳細及び募集要項は、平成23(2011)年8月1日(月)以降、以下のWebサイトに掲載する。</p> <p><a href="http://www.peak.c.u-tokyo.ac.jp/">http://www.peak.c.u-tokyo.ac.jp/</a>                  照会先：東京大学国際化推進学部入試担当室  <a href="mailto:int.admissions@m1.adm.u-tokyo.ac.jp">int.admissions@m1.adm.u-tokyo.ac.jp</a></p>



「平成24年度東京大学入学者選抜（一般入試）における大学入試センター試験の利用教科・科目について（予告）」の変更について

平成23年6月  
東京大学

平成24年度大学入試センター試験（平成24年1月実施）の利用教科・科目については、既に予告として公表しているところですが、「平成24年度大学入学者選抜大学入試センター実施要項（平成23年5月31日）」の公表に伴い、「地理歴史」、「公民」、「理科」の科目選択の方法について、下記のとおり変更いたします。なお、下記以外の教科・科目に変更はありません。

変更前

変更後

前日程

【文科各類】

教科	科目	科目選択の方法
理科	「物理I」 「化学I」 「生物I」 「地学I」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、2科目を受験した場合は、 <u>高得点の科目の成績を合否判定に利用する。</u>

教科	科目	科目選択の方法
理科	「物理I」 「化学I」 「生物I」 「地学I」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、理科の試験時間において2科目を受験した場合は、 <u>第1解答科目の成績</u> を合否判定に利用する。



【理科各類】

教科	科目	科目選択の方法
地理歴史・公民	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」 『倫理、政治・経済』	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、2科目を受験した場合は、 <u>高得点の科目の成績を合否判定に利用する。</u>

教科	科目	科目選択の方法
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、地理歴史及び公民の試験時間において2科目を受験した場合は、 <u>第1解答科目の成績</u> を合否判定に利用する。
公民	『倫理、政治・経済』	



変更前

変更後

後日程

教科	科目	科目選択の方法
地理歴史・公民	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」 『倫理、政治・経済』	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、2科目を受験した場合は、 <u>高得点の科目の成績を合否判定に利用する。</u>
理科	「物理I」 「化学I」 「生物I」 「地学I」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、理科の試験時間において2科目を受験した場合は、 <u>高得点の科目の成績を合否判定に利用する。</u>

教科	科目	科目選択の方法
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、地理歴史及び公民の試験時間において2科目を受験した場合は、 <u>第1解答科目の成績</u> を合否判定に利用する。
公民	『倫理、政治・経済』	
理科	「物理I」 「化学I」 「生物I」 「地学I」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお、理科の試験時間において2科目を受験した場合は、 <u>第1解答科目の成績</u> を合否判定に利用する。



**○テレホンサービス**      電話番号      03(3818)9900

次の期間中テレホンサービスを行う。

- (1) 募集要項の請求方法について  
平成23年11月1日(火)～平成24年1月22日(日)
- (2) 出願状況について  
平成24年1月23日(月)午後5時～平成24年2月24日(金)
- (3) 追加合格について  
平成24年3月28日(水)午前9時～平成24年3月31日(土)

**○入学者選抜等に関する照会先**

〒113-8654      東京都文京区本郷7丁目3番1号

**東京大学入試事務室**

電話番号      03(5841)1222

(注) 照会は、志願者本人が行うこと。  
外国学校卒業学生特別選考については、電話番号 03(5841)2366まで照会すること。

東京大学ホームページ <http://www.u-tokyo.ac.jp/>  
携帯電話サイト <http://daigaku.jc.jp/u-tokyo/>




## ○入学者募集要項等の入手方法

郵送を希望する場合は、以下のⅠ、Ⅱのいずれかの方法で申し込むこと。  
東京大学からの郵送は行わないので、注意すること。

### Ⅰ. 「テレメール」で請求する場合

(1) インターネット（パソコン・携帯電話）または自動音声応答電話で請求する場合

① 以下のいずれかの方法で  テレメールにアクセスする。

インターネット (パソコン・携帯電話)	http://telemail.jp パソコン、携帯電話各社共通アドレス なお、東京大学ホームページ (http://www.u-tokyo.ac.jp) からのリンクによってもアクセスできる。	携帯電話用 バーコード 
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円。	

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力またはプッシュする。  
※携帯電話でバーコードを読み取りアクセスした場合及び東京大学ホームページからアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要。

資料名	資料請求番号	送料(注)	発送開始日
選抜要項	562462	180円	7月25日
大学案内	562472	210円	7月15日
選抜要項＋大学案内	562452	290円	7月25日
募集要項（一般入試）	582452	290円	11月中旬
募集要項（一般入試）＋大学案内	542452	290円	11月中旬
外国学校卒業学生募集要項	582462	210円	7月1日
外国学校卒業学生募集要項＋大学案内	542462	290円	7月25日

(注) 送料のほか、別途払込手数料が必要。

③ あとはガイダンスに従って登録する。

#### (1) に関する注意事項

- ・発送開始日以前に請求した資料は予約受付となり、発送開始日になり次第発送される。その際は、発送開始日から2～3日程で資料が届く。
- ・発送開始日以降に請求した資料は、請求してから2～3日程で届く。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もある。なお、5日以上経っても届かない場合には、テレメールカスタマーセンターへ問い合わせること。
- ・送料は、届いた資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払うこと（支払いに際して手数料が別途必要。なお、送料は資料の重量変更により変更になる場合がある。
- ・電話による請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりと伝えること。登録された音声不鮮明な場合は、到着まで時間がかかる場合がある。

(2) 郵便局で請求する場合（10月より案内開始）

郵便局（簡易郵便局除く）に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口で申し込むこと。受付から1週間程（発送開始日以前の申込みでは発送開始日から2～3日程）で資料が届く。郵便局用願書請求カタログは、9月以降、高等学校等で入手できる場合もある。

#### Ⅰの請求方法についての問い合わせは

テレメールカスタマーセンター 電話050-8601-0102 (9:30～18:00) まで

### Ⅱ. 「モバっちょ」で請求する場合

(1) インターネット（携帯電話）で請求する場合

右のバーコードを読み取りアクセスし、請求する。

※「モバっちょ」では、資料請求料金を携帯電話の通話料金と一緒に支払うことができるので、郵便局等へ払い込みに行く必要はない。

※下表の料金は、送料・手数料込みである。

資料名	送料（手数料込み）	発送開始日
選抜要項	250円	7月25日
大学案内	250円	7月15日
選抜要項＋大学案内	300円	7月25日
募集要項（一般入試）	250円	11月中旬
募集要項（一般入試）＋大学案内	300円	11月中旬

※携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によっては利用できない場合がある。

(2) インターネット（パソコン）で請求する場合（クレジットカード決済のみ）

次のURLにアクセスし、請求する。【URL】http://djcm-b.jp/u-tokyo/

※料金は（1）と同じであるが、支払いはクレジットカード決済のみとなる。

#### Ⅱの請求方法についての問い合わせは

モバっちょカスタマーセンター 電話050-3540-5005 (平日10:00～18:00) まで

### Ⅲ. 大学に直接訪問して受領する場合

交付場所

本郷地区キャンパス：正門、赤門、広報センター（龍岡門）、  
コミュニケーションセンター（赤門脇）、  
東大生協（安田講堂売店、書籍部）、農学部正門  
駒場Ⅰキャンパス：正門、コミュニケーションプラザ北館1階生協購売部